



令和6(2024)年7月19日
金田南学園小中一貫教育だより
〔 金田南中学校
奥沢小学校
金丸小学校 〕



☆☆令和6年度の小中一貫教育について☆☆

金田南中学校区小中学校は、金田南学園と称して、小中一貫教育を推進しています。概要につきましては、グランドデザインをご覧ください。

今年度、金田南学園小中一貫教育での具体的な取組は次のとおりです。

確かな学力の向上	豊かな社会性とコミュニケーション力、規範意識の育成	健康・体力の向上
○言語活動を充実させ、読解力と表現力を育成する。 ○国語・英語教育を充実させる。	○キャリア教育などを通して、社会的・職業的自立に向けて必要な能力を育成する。	○義務教育9年間を通して、教科体育を充実させる。

☆☆7月までの主な取組☆☆

4月に小中一貫教育全体集会を行い、小中の教職員で今年度の方針を確認しています。各部会での細かい打合せを行いました。また、南中生が各小学校へ出向き、児童と一緒に「あいさつ運動」を実施しました。この他、金田南中学校の国語の授業研究会を行ったり、奥沢小学校と金丸小学校では、4年生と5年生が社会科見学や宿泊学習で交流したりしています。

【金田南学園の部会と主な取組】

教頭部会：地域連携交流、学校運営協議会の運営	児童生徒指導部会：自己有用感の育成
教務部会：指導系統性を図ったカリキュラム作成	健康指導部：課題解決に向けた目標づくりと指導
学習指導部：学力向上に向けた取組	研究教科部会：国語や英語の授業研究



全体集会



あいさつ運動



南中で国語の研究授業



5年 宿泊学習（那須）



4年 社会科見学（県民の森）

今後も、小中間、小小間での交流活動や授業研究会など、様々なことに取り組んでいきます。

☆☆学校運営協議会(CS)☆☆

本市は、小中一貫教育を縦軸、学校運営協議会(CS)を横軸として、一体化して推進していることが特徴です。学校運営協議会は、各校のPTA会長や地域学校協働活動推進員、校長、教頭、地域代表などからなる組織です。小中一貫教育や各校の学校運営について話し合い、ご支援やご意見をいただいています。

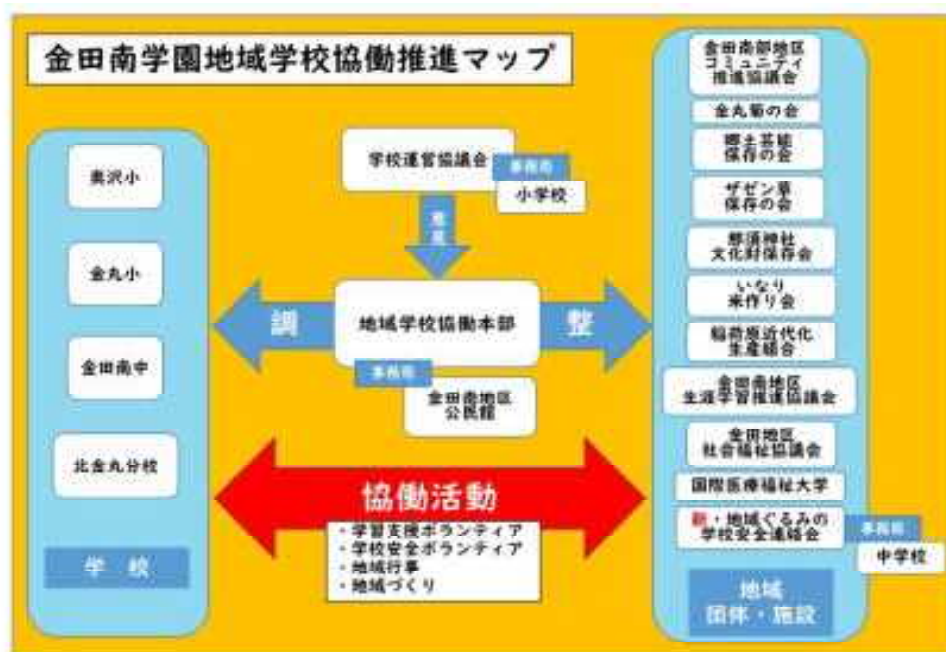
年に4回開催する予定で、今年度はすでに、5月と7月に開催されています。第1回目は、組織編成や年間予定でしたが、第2回は、奥沢小学校で授業参観後、「部活動の地域移行」や「学校支援・安全ボランティアの募集」について熟議が行われました。

学校支援・安全ボランティアにつきましては、金田南中学校が事務局となります。今後、チラシを配付し募集をしますので、ご協力ください。



☆☆令和6年度から地域学校協働本部が設置されます☆☆

地域学校協働本部は、学校の授業や行事への支援や地域の行事等をつなぎ、地域と学校が協働することにより、金田南中学校区の地域を活性化することが目的です。12月には開設できるように、学校運営協議会のメンバーで話し合いを進めています。



各校のHPIは、右のQRコードから閲覧できます。



金田南中



奥沢小



金丸小

金田南学園 小中一貫教育グランドデザイン

大田原市小中一貫教育目標

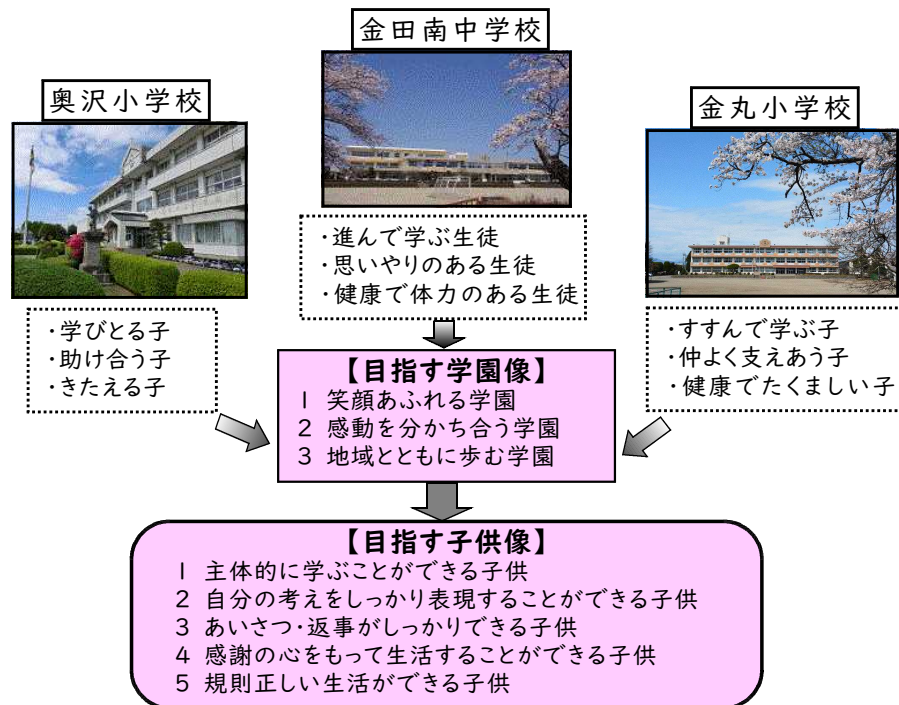
9年間を見通して、目指す子供像を共有し、子供たちの豊かな人間性・確かな学力・コミュニケーション力・社会適応能力の育成と向上を図る。

基本方針

3校が目指す子供像を共有し、学校間・教科間のつながりを踏まえた教育課程の編成を進め、義務教育9年間の系統的な教育システムを基盤とした教育活動の充実を図る。

金田南学園小中一貫教育のねらい

系統的・継続的な指導・支援により、「確かな学力の向上」を中心課題と考え、「豊かな人間性とコミュニケーション力、規範意識の育成」並びに「健康・体力の向上」を三本柱として推進することで、社会適応力（生きる力）を育成する。



◆令和6年度 金田南学園研究テーマ◆

～ 小中一貫教育のさらなる充実へ ～

「笑顔」と「感動」あふれる地域とともにある金田南学園 の実現
一人一人を伸ばし、児童生徒の主体的な学びを促すための取組

《学力の向上に向けた学園としての指導》

学 校	小 学 校						中 学 校		
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7／中1	8／中2	9／中3
区 分	前期（基礎期）				中期（活用・定着期）			後期（発展・充実期）	
指 導 方 法	学級担任制 ・ 一部教科担任制						教科担任制		
	・児童の特性を理解し、基礎基本の定着を図るとともに、技能教科では専門性を生かした指導を行う。				・国算数理社英等の教科担任制を推進し、各教科で活用を意識した指導を行うとともに、学級集団づくりを重視する。			・学級集団の良さを基盤に、各教科の専門性を生かし、課題発見・課題解決の過程を意識した指導を行う。	
学 園 と し て の 指 導 の 重 点	・基本的な学習習慣の定着を図る。 ・基礎的基本的な知識・技能等の定着を図る。 ・考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 ・主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養う。				・基礎的基本的な知識・技能等を活用させ、自ら考え判断し、表現する力を養う。 ・見通しをもって粘り強く学習に取り組み、学習活動を振り返って次につなげる主体的な学びを促す。 ・小中学校の指導のよさを互いに学び合うために、小中学校の教職員が連携を図って指導する。			・自ら課題を設定し、その解決のために意欲的に学習に取り組む態度を養う。 ・自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって学習に取り組む、学習活動を振り返って次につなげる主体的な学びを促す。 ・希望の進路実現に向け、学力の向上を図る。	

	学習指導部	児童生徒指導部	健康指導部
ねらい	「学びの系統性」「指導の系統性」を構築し、学習習慣の定着を図るとともに、確かな学力の向上を目指す。	良好な人間関係づくりや地域との協働、児童生徒の交流などを通し、豊かな人間性とコミュニケーション力、規範意識の育成を目指す。	健康・安全指導を充実させ、将来をとらして生活の質を向上できるよう、健康・体力の向上を目指す。
具 体 的 な 指 導 内 容	各教科等の系統表作成・ICT活用研究・南創タイム・小中合同指導案検討会・乗り入れ授業・南チャレ活動	生活のきまり系統表作成・小中合同行事・あいさつ運動・地域との連携・児童生徒健全育成会・南チャレ活動	基礎体力向上に向けた全校児童生徒による取組・食育の推進・立腰指導・地域学校保健委員会・南チャレ活動